



報道発表資料

2018年1月29日
インフォテリア株式会社

電通国際情報サービスと ASTERIA マスターパートナー契約 を締結 サブスクリプションサービスとして「ASTERIA WARP Core」の販売も開始

インフォテリア株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：平野洋一郎、証券コード：3853、以下インフォテリア）は、EAI/ESB 製品の国内市場において 11 年連続シェア No.1^{※1} 製品である ASTERIA シリーズの一次販売代理店として、株式会社電通国際情報サービス（本社：東京都港区、代表取締役社長：釜井節生、証券コード：4812、以下 ISID）と「ASTERIA マスターパートナー契約」（ASTERIA の一次販売代理店契約）を締結したことを発表します。

本契約締結により、インフォテリアと ISID は ASTERIA シリーズを活用したデータ連携基盤の提供を進める方針です。また、本契約締結と同時に、小規模システムやクラウド型サービスとの連携をターゲットとした「ASTERIA WARP Core」の導入も推進してまいります。

■今後の ASTERIA ビジネスの展開

インフォテリアの ASTERIA ビジネスは順調な拡大を継続しており、現在の導入社数は 6,000 社を突破するとともに、企業データ連携市場（EAI/ESB）では 11 年連続シェア No.1 を継続し、業界のリーディングカンパニーとしての地位を更に強固なものにしています。今後も、ASTERIA シリーズの多様なデータソースとの連携機能を駆使することで社内の情報資産の有効活用に貢献し、新たなビジネスチャンスの獲得に貢献できるような IT ソリューションの構築に貢献してまいります。

■「インフォテリア株式会社」について（Web サイト <https://www.infoteria.com/>）

1998 年に国内初の XML^{※2} 専門ソフトウェア会社として設立されたインフォテリア株式会社は、企業内の多種多様なコンピューターやデバイスの間を接続するソフトウェアやサービスを開発・販売しています。主力製品の「ASTERIA」は、異なるコンピューターシステムのデータをプログラミングなしで連携できるソフトウェアで、大企業、中堅企業を中心に 6,497 社（2017 年 9 月末現在）の企業に導入されています。また、「Handbook」は、営業資料や商品カタログ、会議資料などあらゆる電子ファイルをスマートフォンやタブレットで持ち運べるサービスのスタンダードとして、1,326 件（2017 年 9 月末現在）の企業や公共機関で採用されています。

■「株式会社電通国際情報サービス」について（Web サイト <https://www.isid.co.jp/>）

1975 年の設立当初から顧客企業のビジネスパートナーとして、コンサルティングからシステムの企画・設計・開発・運用・メンテナンスまで一貫したソリューションを提供してきました。IT Solution Innovator をビジョンとし、金融機関向けソリューション、製品開発ソリューションをはじめ、グループ経営・連結会計、HCM（人財・人事給与就業）、ERP、マーケティング、クラウドサービスなど、幅広い分野で積極的な事業展開を図っています。

※1：テクノ・システム・リサーチ社「2017 年ソフトウェアマーケティング総覧 EAI/ESB 市場編」

※2：Extensible Markup Language の略で、任意のタグを使用してデータを記述する言語のこと。

<プレスリリース 掲載 URL>

https://www.infoteria.com/jp/news/press/2018/01/29_01.php

【プレスリリースに関するお問い合わせ先（報道機関窓口）】

インフォテリア株式会社 広報・IR 室：長沼史宏

TEL:03-5718-1297 / FAX:03-5718-1261 / E-mail: press@infoteria.com

【製品に関するお問い合わせ先】

インフォテリア株式会社 ASTERIA 事業本部 営業推進部長：東出 武也

TEL:03-5718-1250 / FAX:03-5718-1261 / E-mail: pm@infoteria.com

インフォテリア、ASTERIA、Handbook はインフォテリア株式会社の登録商標です。
本文中の会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。